

# 認知症を考える

## ～認知症本人が他の病気になったとき～

「認知症」は誰でもかかる可能性があり、いつ直面するか分からない身近な病気のひとつです。「認知症」と診断されたとき、「今までと同じような日常生活を送れるの?」「この先どのようなになるの?」「少しでも進行を遅らせるにはどうしたらよいの?」など、不安に感じられる方も多いのではないのでしょうか。

今回の「今の医療、こんなんで委員会」では「認知症を考える」をメインテーマに3回シリーズで開催しています。

第2回目の今回は、認知症の人が認知症以外の病気になったときに、家族等が直面するであろう様々な問題を一緒に話し合いたいと思います。

◎具体的事例を示しディスカッションの予定です。

- 健康状態と食事制限
- 診察、入院に関する問題
- 認知症と胃ろう 等

フロアからも発言できる時間を設けますので、皆さまご参加をお待ちいたしております。

開催日時

2016年 12月4日

13時30分～16時00分

京都府医師会館3階 310会議室

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6

<バスをご利用の方>京都市バス、JRバス「二条駅前」下車スグ

<電車をご利用の方>JR「二条駅」および地下鉄東西線「二条駅」下車

阪急「大宮駅」、嵐電「四条大宮駅」下車徒歩約12分

**入場無料** 定員 先着300名 (事前申込不要)

※当日は自由参加になっておりますので直接会場にお越しください。

「今の医療、こんなんで委員会」とは…

医療・介護の問題について、いろいろな立場から本音を語り合い、お互いの理解、信頼関係を深めるためのエチケット・マナーを考えようという趣旨から始まった委員会です。

